



各位

2024年5月13日

会社名 東京ラヂエーター製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 裕哲
(コード番号 7235 東証)
問合せ先 企画管理本部本部長 矢野 和彦
(TEL.0466-87-1231)

2024年3月期 法人税等調整額（益）の計上及び通期連結業績予想と実績との差異、
剰余金の配当決定並びに次期配当に関するお知らせ

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）における法人税等調整額（益）の計上及びそれに伴う通期業績予想と実績との差異について下記の通り、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2024年3月期の期末配当について、2024年6月27日開催の第120回定時株主総会に下記の通り付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年3月期法人税等調整額（益）の計上について

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上し、法人税等調整額（益）を327百万円計上いたしました。

2. 2024年3月期通期業績予想と実績の差異について

1) 2023年4月1日～2024年3月31日

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 33,500	百万円 1,300	百万円 1,400	百万円 1,300	円 銭 138.48
実績（B）	33,401	1,397	1,548	1,681	179.07
増減額（B - A）	△98	97	148	381	
増減率（%）	△0.3	7.5	10.6	29.3	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	31,785	823	849	△718	△52.78

2) 差異の理由

売上高は、トラック市場の需要、産業・建設機械市場でも欧米を中心とした需要が堅調に推移したことにより概ね前回発表通りの結果となりました。また、原価低減の推進と市況変動の回収等により営業利益及び経常利益は前回発表を上回る結果となり、さらに、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記1.のとおり、法人税等調整（益）を計上したため、大きく上回る結果となりました。

3. 剰余金の配当について

1) 2024年3月期期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	2024年3月31日	2023年3月31日
1株当たり配当金	14円 (普通配当)9円00銭 (特別配当)5円00銭	9円00銭	8円00銭
配当金の総額	131百万円	—	75百万円
効力発生日	2024年6月28日	—	2023年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2) 理由

当社の利益処分の考え方については、企業体質の強化や将来の事業展開に備えるため内部留保の充実等を勘案しつつ、株主に対する安定的な配当を継続することを基本としています。

2024年3月期におきましては、上記のとおり、2023年5月12日に公表致しました当初計画および2023年12月26日に公表致しました修正計画を大きく上回る結果となりましたことから、特別配当を実施することを決議致しました。

4. 次期の配当について

当社は株主の皆様に対する利益還元策を重要課題の一つとして認識しております。2025年3月期の配当につきましては、本日の決算発表のとおり、業績予想等を勘案したうえで、1株当たり年間配当金26円（うち、中間配当金13円）を予定しております。

以上